知られていない有害電磁波の実態

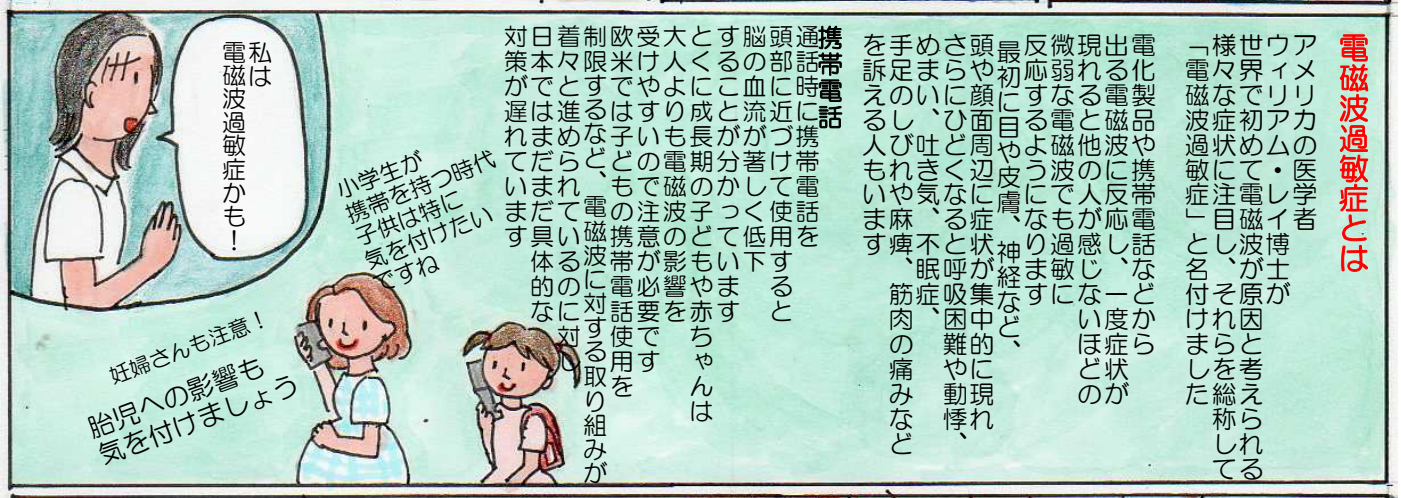
電化製品で画期的に便利快適なりましたが、実は大変な健康被害がでています。
ヨーロッパでは随分前から問題になっていていろいろ規制があります。

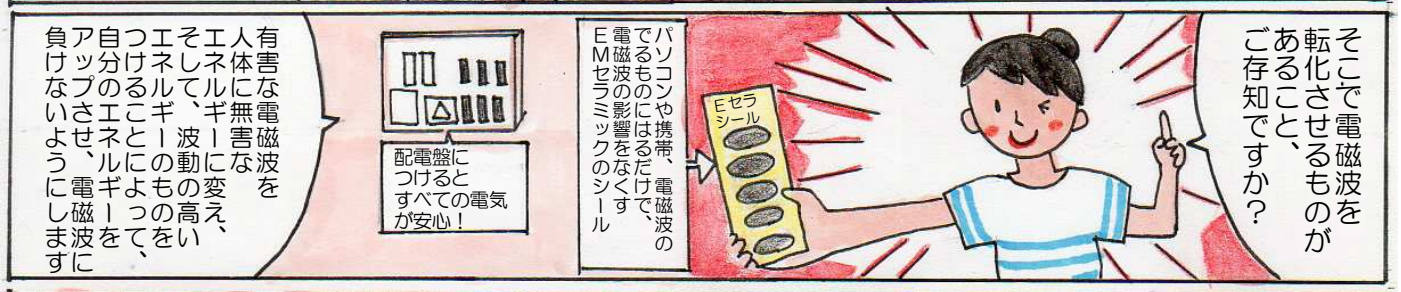
電磁波過敏症とは

アメリカの医学者
ウィリアム・レイ博士が
世界で初めて電磁波が原因と考えられる
様々な症状に注目し、それらを総称して
「電磁波過敏症」と名付けました

電化製品や携帯電話などから
出る電磁波に反応し、一度症状が
現れると他の人が感じないほどの
微弱な電磁波でも過敏に
反応するようになります
最初に目や皮膚、神経など、
頭や顔面周辺に症状が集中的に現れ
さらにひどくなると呼吸困難や動悸、
めまい、吐き気、不眠症、
手足のしびれや麻痺、筋肉の痛みなど
を訴える人もいます

携帯電話
通話時に携帯電話を
頭部に近づけて使用すると
脳の血流が著しく低下
することが分かっています
とくに成長期の子どもや赤ちゃんは
大人よりも電磁波の影響を
受けやすいので注意が必要です
欧米では子どもの携帯電話使用を
制限するなど、電磁波に対する取り組みが
着々と進められているのに対し
日本ではまだまだ具体的な
対策が遅れています





可能なら対策してください。敏感な方は体で分かります。まるで違います。